

## 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について

### 1 調査の目的

- ・全市的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校及び中学校ブロックにおける児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・教育に関する継続的な検証改善サイクルの確立に役立てる。

### 2 調査の概要

- (1) 調査実施日 令和3年5月27日(木)
- (2) 調査対象 小学校・義務教育学校(前期課程)・特別支援学校(小学部)第6学年  
中学校・義務教育学校(後期課程)・特別支援学校(中学部)第3学年
- (3) 本市の調査実施校数等
  - ・小学校(66校)、義務教育学校前期課程(3校)、特別支援学校小学部(1校) 4,664名(内 義務教230名、特別支援学校1名)
  - ・中学校(32校)、義務教育学校後期課程(3校)、特別支援学校小学部(1校) 4,295名(内 義務教204名、特別支援学校5名)
- (4) 調査内容
  - ア 教科に関する調査
    - 小学校：国語、算数
    - 中学校：国語、数学
    - ※H31年度よりA問題、B問題の区分がなくなり、知識・技能と活用を一体的に問う問題に変更
    - ※解答(回答)用紙が全てA4サイズに変更
  - イ 質問紙調査
    - ① 児童生徒用(質問数 小学校69問、中学校69問)  
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
    - ② 学校用(質問数 小学校91問、中学校91問)  
指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査

### 3 結果

#### (1) 教科に関する調査

	教科等	令和3年度		
		姫路市平均 正答率	国との比較	県との比較
小学校第6学年、 義務教育学校前期課程第6学年 特別支援学校小学部第6学年	国語	61	-4	-3
	算数	69	-1	-2
中学校第3学年、 義務教育学校後期課程第3学年 特別支援学校中学部第6学年	国語	63	-2	-1
	数学	57	0	-1

(注) 学力面において、細かい桁による微小な差異は、実質的な違いを示すものではないため、平均正答率においては小数点以下を四捨五入した結果を示している。

(2) 質問紙調査（抜粋）

(注) 昨年度の項目に加えて、近年本市の課題と捉えているものを表示している。

(注) 下記の数値は各設問において、肯定的な回答をした割合である。

(注) 結果の分析においては、肯定的回答率の差が、無い場合は「同程度」、±0.1～±5.0の場合は「やや上回る（下回る）」、±5.1～±10.0の場合は「上回る（下回る）」、±10.1～の場合は「大きく上回る（下回る）」としている。

	質問事項	小学校					中学校					
		H28	H29	H30	H31	R3	H28	H29	H30	H31	R3	
		市	県	国	市	県	国	市	県	国	市	県
児童生徒質問紙	1 【学習への興味】 国語の勉強は好きですか。	市	57.2	60.3	—	65.1	53.5	55.0	61.3	—	50.9	57.9
		県	58.1	59.5	—	63.2	56.2	59.8	60.0	—	60.6	60.2
		国	58.3	60.5	—	64.2	58.4	59.8	60.5	—	61.7	60.8
	2 【学習への興味】 算数・数学の勉強は好きですか。	市	57.4	58.8	57.9	64.5	66.9	52.3	47.5	50.4	51.7	57.1
		県	62.5	62.7	60.9	66.7	67.2	53.4	52.0	50.7	55.0	57.8
		国	66.0	65.9	64.0	68.6	67.8	56.0	55.4	53.9	57.9	59.1
	3 【学習への興味】 英語の勉強は好きですか。	市	/	/	/	/	69.6	—	—	—	53.6	55.9
		県	/	/	/	/	67.6	—	—	—	56.7	57.9
		国	/	/	/	/	68.3	—	—	—	56.0	56.7
	4 【主体的・対話的で深い学び】 今までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。	市	—	—	75.2	78.5	76.4	—	—	68.3	65.6	78.5
		県	—	—	74.9	76.7	76.9	—	—	69.6	70.8	78.2
		国	—	—	76.7	77.7	78.2	—	—	73.8	74.8	81.0
	5 【主体的・対話的で深い学び】 今までに受けた授業の中で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか。	市	59.1	61.2	59.6	61.7	61.9	46.5	46.5	44.1	42.1	53.4
		県	60.8	61.6	59.7	61.7	62.1	49.6	48.8	46.1	48.7	55.8
国		64.2	64.9	61.0	62.5	63.5	57.7	57.9	53.8	55.8	62.0	
6 【主体的・対話的で深い学び】 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。	市	64.5	65.3	78.9	72.6	77.2	57.2	57.9	74.2	64.6	72.4	
	県	65.8	65.9	77.6	73.2	78.1	60.4	59.8	74.2	70.2	75.1	
	国	68.3	68.2	77.7	74.1	78.8	64.8	64.8	76.3	72.8	77.8	
7 【ICTを活用した学習状況】 あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達〔生徒〕と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか。	市	—	—	—	—	54.5	—	—	—	—	35.8	
	県	—	—	—	—	41.8	—	—	—	—	39.1	
	国	—	—	—	—	39.0	—	—	—	—	34.8	
8 【家庭学習】 家で、自分で計画を立てて勉強していますか。	市	58.7	62.3	66.6	69.9	71.7	45.0	46.4	45.0	43.5	60.8	
	県	58.6	60.6	64.1	68.5	71.1	45.6	48.4	47.4	47.7	63.7	
	国	62.2	64.5	67.6	71.5	74.0	48.4	51.5	52.1	50.4	63.5	
9 【読書活動】 学校の授業以外に普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか。※30分以上の割合	市	34.1	35.3	38.1	38.7	37.1	30.0	28.2	28.6	26.3	28.2	
	県	34.8	34.6	39.7	38.3	36.7	25.3	26.3	27.1	24.6	26.1	
	国	36.5	36.5	41.1	39.8	37.4	28.2	29.2	30.9	27.0	28.9	
10 ※【読書活動】 読書は好きですか。	市	70.6	70.8	—	72.1	—	73.3	68.2	—	65.0	—	
	県	73.3	73.2	—	74.1	—	67.3	67.4	—	66.0	—	
	国	74.6	74.3	—	75.0	—	69.9	69.9	—	68.0	—	
11 【規範意識】 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	市	96.6	95.4	96.3	97.6	96.7	94.1	93.1	96.0	95.6	96.1	
	県	96.5	96.0	96.8	97.4	97.0	93.7	92.8	95.7	95.2	96.1	
	国	96.6	96.1	96.8	97.1	96.8	93.6	92.8	95.5	95.1	95.9	
12 【自尊感情】 自分にはよいところがありますか。	市	74.7	77.2	84.5	82.7	75.2	68.6	70.4	78.8	72.2	77.4	
	県	76.5	78.3	85.5	82.8	77.1	69.3	70.5	79.6	74.5	76.5	
	国	76.3	77.9	84.0	81.2	76.9	69.3	70.7	78.8	74.1	76.2	
13 【社会参画力】 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	市	93.8	92.5	95.4	96.4	96.6	92.3	92.0	95.4	93.3	95.8	
	県	93.9	92.7	95.6	95.9	96.1	92.8	91.8	95.3	94.5	95.4	
	国	93.8	92.5	95.2	95.2	95.5	92.8	91.9	94.9	94.3	95.0	
14 【社会参画力】 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。	市	—	37.5	48.4	54.7	53.4	—	30.0	35.1	36.4	45.4	
	県	—	38.4	46.7	51.1	49.7	—	29.0	33.3	34.6	40.9	
	国	—	42.3	49.9	54.5	52.4	—	33.4	38.7	39.4	43.8	

	質問事項	小学校					中学校					
		H28	H29	H30	H31	R3	H28	H29	H30	H31	R3	
学校質問紙	1 【指導計画】 指導計画作成に当っては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している。	市	—	—	97.1	92.8	94.3	—	—	88.5	97.2	88.9
		県	—	—	95.9	94.4	94.9	—	—	89.0	91.4	89.2
		国	—	—	94.7	95.1	94.4	—	—	90.2	91.3	90.6
	2 【指導計画】 児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。	市	92.7	91.3	100.0	95.6	92.8	82.9	85.7	85.7	91.4	91.6
		県	87.1	92.2	95.7	94.1	91.7	80.1	77.1	87.0	89.3	89.8
		国	88.5	92.6	94.9	95.4	93.6	86.3	87.8	93.1	93.4	92.7
	3 【指導計画】 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか。	市	—	—	94.2	89.8	87.2	—	—	82.9	85.7	83.3
		県	—	—	91.1	88.7	80.4	—	—	84.1	85.6	82.0
		国	—	—	90.6	89.6	85.7	—	—	85.2	86.4	87.2
	4 【指導計画・授業改善】 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいる。	市	92.0	94.2	98.5	98.6	95.7	85.7	80.0	91.4	97.1	94.5
		県	92.5	94.0	96.3	96.7	96.6	83.3	83.8	86.7	92.3	92.8
国		91.7	92.3	94.2	97.2	95.6	88.3	88.8	90.7	95.1	94.3	
5 【授業改善】 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした。	市	95.7	91.3	95.6	92.8	85.8	80.0	91.4	91.5	85.7	77.8	
	県	90.8	91.6	93.8	90.1	86.9	84.1	85.8	90.5	83.3	81.7	
	国	90.1	91.5	93.0	89.3	88.1	88.6	89.6	92.6	88.0	86.9	
6 【授業改善】 調査対象である児童生徒に対する指導において、前年度に、教員が大型提示装置等のICTを活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか。（週1回以上）	市	—	—	98.5	94.2	97.2	—	—	97.2	100.0	97.3	
	県	—	—	71.5	80.8	94.0	—	—	76.9	85.3	87.0	
	国	—	—	73.0	80.8	86.6	—	—	74.8	80.8	87.8	
7 【研修体制】 授業研究や事例研修など、実践的な研修を行っていますか。	市	92.7	95.7	94.2	100.0	97.2	74.3	94.2	91.5	88.6	88.9	
	県	93.6	95.9	96.7	99.7	97.5	84.7	89.8	90.5	93.4	90.4	
	国	92.8	95.6	96.7	99.3	98.1	84.2	90.0	90.9	96.4	93.9	
8 【地域との関わり】 保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか。	市	98.5	98.6	98.5	98.6	92.9	97.2	100.0	91.4	91.4	83.3	
	県	98.1	99.5	98.5	97.8	94.3	97.4	98.6	91.3	88.8	78.8	
	国	97.7	98.6	97.7	97.8	95.7	95.6	97.5	90.4	90.4	85.3	
9 【小中連携・小小連携】 前年度までに、近隣の小中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか。	市	81.1	76.8	75.4	81.1	60.0	91.5	91.4	82.9	88.5	83.3	
	県	59.9	64.0	68.1	65.9	47.3	76.9	80.2	83.2	78.9	57.0	
	国	62.5	65.6	69.5	70.6	57.4	72.5	74.8	76.5	76.2	65.1	
10 【小中連携・小小連携】 前年度までに、近隣等の小中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか。	市	72.4	75.3	88.4	82.6	74.3	77.1	80.0	94.2	82.8	88.9	
	県	40.7	45.9	60.8	57.5	45.8	51.6	53.0	69.1	61.7	54.7	
	国	47.1	51.3	63.1	65.0	59.1	54.9	58.2	69.2	68.0	65.0	
11 【小中連携・小小連携】 前年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣の小中学校と成果や課題を共有しましたか。	市	85.5	97.1	94.2	89.8	78.5	91.4	91.5	94.3	97.2	80.6	
	県	42.5	49.3	62.2	53.9	38.3	50.5	53.1	61.3	56.5	41.9	
	国	49.5	53.0	63.3	60.6	48.1	53.9	56.8	64.0	60.0	48.5	

(注) ※は、今年度の質問事項にはないが、本市として大切にしている項目を表示している。

## 児童生徒質問紙

- 【学習への興味】国語科について、小学校では、平成31年度と比べて全国的な低下が見られるが特に本市は大幅な低下が見られ、国や県をやや下回った。中学校では、平成31年度と比べて上昇が見られるが、国や県をやや下回っている。算数・数学科について、昨年度に比べて小学校、中学校ともに上昇したが、国や県をやや下回った。英語科については、小学校では、国や県をやや上回り、中学校では、国や県をやや下回った。
- 【主体的・対話的で深い学び】小学校は、国や県をやや下回っている。中学校は、国や県をやや上回る項目とやや下回る項目があった。
- 【ICTを活用した学習状況】小学校では、国や県を大きく上回っている。中学校は、国よりもやや上回り、県よりもやや下回っている。
- 【家庭学習】小学校は、国をやや下回ったが、平成28年度以降は上昇している。中学校は、国や県をやや下回ったが、平成31年度と比べ、大幅に上昇した。

- 【読書活動】小学校、中学校ともに、国をやや下回り、県をやや上回った。
- 【規範意識】小学校は、国や県をやや下回り、中学校は国をやや上回り、県と同程度である。
- 【自尊感情】小学校は、国や県をやや下回り、中学校では、国や県をやや上回った。
- 【社会参画力】小学校、中学校ともに、国や県をやや上回った。特に中学校は、平成 31 年度と比べ大きな上昇がみられる。

## 学校質問紙

- 【指導計画】教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている割合は、小学校では国や県を上回り、中学校では国をやや下回った。
- 【授業改善】学習過程を見通した指導方法について、小学校は、国や県をやや下回り、中学校は、国や県を下回った。ICTを活用した授業は、小学校、中学校ともに国や県を大きく上回った。
- 【研修体制】小学校は、国や県をやや下回るが肯定的回答率が高く、中学校は、国や県をやや下回った。
- 【地域との関わり】平成 31 年度と比べ、全国的に低下が見られ、小学校は国や県をやや下回り、中学校は、国をやや下回り、県をやや上回った。
- 【小中連携・小小連携】小学校、中学校ともに、平成 28 年度より継続して国や県を大きく上回った。

## 4 今後の対応

本調査結果を踏まえ、学力向上に向けて以下の取組を推進する。

### 【授業改善に対する教育委員会の取組】

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、リーフレットを活用し、各学校へ指導助言を行う。
- 学力向上推進リーダーを活用し、各校での学力分析や課題解消の取組を推進する。
- 教職員の資質向上に向け、研修講座の充実や校内外研修の活性化を図る。
- 基礎学力向上や各学校の課題解決に向けた短時間学習を推進する。
- 新聞や本、インターネット等の情報を活用した「調べ学習」を推進する。
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現のためのツールとして ICT 機器の活用を推進する。

### 【基礎的環境に関する教育委員会による支援】

- 勤務時間の適正化を推進し、教職員が子供と向き合う時間や、授業づくりの時間を確保できるように支援する。
- 教職員の研修の場を確保するとともに、校内外研修に対して外部指導者を派遣する。
- 放課後学習の実施に対して、人的支援を行う。
- 課題解消困難校に対して、人的支援を重点的に行う。
- 子供たちの豊かな学びを実現するため、ICT 環境を充実させる。
- 様々な悩みや課題を抱える子供や保護者の相談・支援を行う。
- 不登校やいじめの未然防止に向けた取組を支援し、全ての子供にとっての魅力ある学校づくりを推進する。